

2023年9月29日

各位

株式会社三井住友銀行

日本板硝子株式会社への
「サステナビリティ・リンク・ローンフレームワーク」の策定支援及び
シンジケーション形式による「サステナビリティ・リンク・ローン」の組成について

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：福留 朗裕）は、日本板硝子株式会社（代表執行役社長兼 CEO：細沼 宗浩）の「サステナビリティ・リンク・ローンフレームワーク」（以下、「本フレームワーク」）の策定支援を行うとともに、シンジケーション形式のサステナビリティ・リンク・ローン（以下、「本ローン」）を組成いたしました。

サステナビリティ・リンク・ローンは、借り手のサステナビリティ戦略と整合した Sustainability Performance Targets（以下、「SPTs」）を設定し、貸出条件と SPTs に対する借り手のパフォーマンスとを連携させ、SPTs 達成への動機付けを与えることで、環境的・社会的に持続可能な経済活動及び経済成長を促進し、支援することを目指すものです。

日本板硝子グループ（以下、「NSG グループ」）は、建築用ガラス、自動車用ガラス、高機能ガラスの 3 事業をグローバルに展開しています。世界最大級のガラスメーカーとして、日本をはじめ、欧州、北米、南米、アジアに主要製造拠点を擁し、世界 100 以上で製品を販売しています。お客様と社会が求める多種多様なニーズに対して従来のガラスを超えるプラスアルファの価値やサービスを迅速かつ適切に提供することにより、持続的成長可能な社会の実現を目指しています。

NSG グループは、気候変動対策をはじめとする環境問題への取組を最重要課題の一つとして位置付け、製造工程で発生する CO2 の削減、再生可能エネルギーへのシフトに積極的に取り組んでいます。NSG グループが掲げる温室効果ガスの排出削減目標は、日本のガラス製造業として初めて「科学的根拠に基づいた目標」として SBT イニシアティブ (SBTi) (※1) に認定されており、本ローンでは当該認定に基づき SPTs を定め、達成への動機付けとして、SPTs の達成度合いに応じて金利条件が連動する貸出条件が設定されています。

本フレームワークは、国際金融業界団体の LMA (Loan Market Association)、LSTA (Loan Syndications and Trading Association) 及び APLMA (Asia Pacific Loan Market Association) にて策定された「サステナビリティ・リンク・ローン原則 (2023 年 2 月改定)」との適合性及び設定した SPTs の妥当性について、第三者機関である株式会社格付投資情報センター (R&I) から「セカンドオピニオン」を取得しています。

【本ローンの概要】

借入人	日本板硝子株式会社
組成金額	総額 163 億円
借入期間	3 年 / 4 年（トランシェ別）
契約締結日	2023 年 9 月 27 日
アレンジャー	株式会社三井住友銀行
貸付人	アレンジャーが招聘したシンジケート団
サステナビリティ・ コーディネーター（※2）	株式会社三井住友銀行
SPTs	SPT①：Scope1, 2 の CO2 排出量を 2030 年までに 2021 年比 24.0%削減 SPT②：事業活動で消費する全電力における再生可能エネルギー 由来の電力使用割合を 2030 年までに 85%とする

（※1）SBTi（Science Based Targets initiative）：

CDP（旧カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト）、国連グローバル・コンパクト、WRI（世界資源研究所）及び WWF（世界自然保護基金）による共同イニシアティブで、気候変動リスクの低減に向けて企業に対し、科学的知見と整合した温室効果ガス削減目標の設定を推進しています。

（※2）サステナビリティ・コーディネーター：

サステナビリティ・リンク・ローンの組成・設計にあたって、借り手の SPTs 設定等の支援を行う機関。

（参考）

日本板硝子株式会社 ホームページ：

<https://www.nsg.co.jp/ja-jp>

をご参照ください。

株式会社格付投資情報センター ホームページ：

<https://www.r-i.co.jp/rating/esg/sustainabilityfinance/index.html>

をご参照ください。

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

サステナブルソリューション部

TEL：03-4333-6964

このお知らせは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。